

菅鹿祇宣隆 くさかき けんりゅう 國學者。文化十五年四月九日(三河國寶飯郡)ノ宮
生乳、明治二年六月二十一日歿(八八―九)。通稱孫十郎、勘解由、
近江、嵯、近江守。號杉廼金戸、杉門主人、藤原朝臣宣隆。少時吉田
東堂くさかきニ學び、天保五年平田篤胤あつしんノ門ニ入る。また石塚龍鷹りゅうおう(就キ古言
假名遣かじりひきを研鑽。明治元年京都皇學所きょうていニ出仕すると、翌年急死。羽田
野敬雄、竹尾正胤、八木美德等と親交。漢籍かんせきニも通じ、書しよも能くす。
著書多く、葬祭願係書『祭典畧―附祭文例』(明治二年三月序、氣吹
舎藏版)が知られる。